

(第2号様式)

宮古第1540号
令和8年3月23日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古高等学校
校長 松原 芳和
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月18日(金) 16:00~17:00	場所	会議室	出席 状況	学校評議員2名 職員6名
第2回	日時	12月19日(金) 16:00~17:00	場所	会議室	出席 状況	学校評議員2名 職員5名
第3回	日時	3月17日(火) 16:00~16:30	場所	校長室	出席 状況	学校評議員3名 職員6名

2 学校評議員に求めた事項

本校教育活動に対する感想及び提言

- 教育界・同窓生代表としての視点より、未来を見据えた俯瞰的な助言を求める。
- PTA活動を精力的にこなしてきた経験や、学校に寄り添ってきた立場から、支援的な助言を求める。
- 地域産業界の代表としての視点より、地域の実情をもって学校を外から捉えた助言を求める。

3 学校評議員の意見

- クーラーの故障が報道されたことをうけ、状況を知りたい。
- 部活動をやる生徒が減っているなか、活動報告から、生徒たちはよく頑張っているのがわかる。
- 離島事情のなか、外部人材を多用し、進路講演会や講話など熱心に取り組んでいる。
- 成績優秀者の数の変動をうけ、評価の在り方がどうなっているのか教えてほしい。
- 生徒の免許取得状況、出席状況等、生徒支援について、より保護者へ委任する部分を増やすほうがよい。
- 離島事情のなか、先生方の頑張りはよく理解できる。引き続き教職員の負担軽減を検討してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- 成績処理期間、授業参観日の実施を再考した。教職員の働き方改革推進の必要性を再確認した。
- 希望制の講座は、少人数でも実施していく意義があることを再確認した。
- 行事の際の保護者の駐車制限に関しては、引き続き、協力を仰いだ。
- 進路指導と評価の在り方を連動させることの必要性を再確認した。

5 課題その他

- 去年同様、入試の際、受検生の保護者による迷惑駐車による苦情が、近隣協業施設より寄せられた。入試説明会等で協力を仰ぐ等、中学校側との連携も模索していきたい。
- 学校課題を地元の報道機関と共有し、報道機関と連携して対策を弄することも検討の余地がある。
- 教職員の業務分業化は一長一短あり、特に事務作業における協働体制の構築は必須。
- 新たな方策を試行することにより、保護者との連携をより密にしていきたい。